

確かな学力を育てる学習活動の充実を図る

～学びの基本要素の徹底 わかりやすく楽しい授業 自己効力感の育成をめざして～

学力向上推進員	委員	牧 逸馬	1年主任	山上孝好	各教科主任
影田博徳	校長	久米宏美	2年主任	沖野 真	
	教務	那住公子	3年主任	高島三枝	

牧 逸馬 [印]

阿南中学校  
「学力向上実行プラン」

(1)基礎的・基本的な知識・技能の習得

児童生徒の状況	具体的目標(目指す子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況	
よ さ	多くの生徒は学習に対して意欲的であり、音読や、発表など表現することを好み、方法や手順がわかる学習にはまじめに取り組む。	毎日の朝自習や授業を大切に、各教科の基礎的、基本的な内容の習得に意欲的に取り組むことができる。	毎月実施する全教科確認テストの正答率を80%以上にする。			
課 題	基礎・基本的な内容が定着していない生徒が多くみられる。また、既習の知識が系統的でないため、自分の課題や目的に応じて、聞いたり、まとめたりする力や、論理的に説明する力に課題がある。	①「家庭学習の手引き」を活用し、家庭学習の定着を図る。 ②毎期のセミナーで基礎的知識の習得を図る。 ③長期休業中の補充学習(質問教室)を実施する。	取組指標	評価	次年度における改善事項	
		①家庭学習を「毎日1時間以上している」を50%以上にし、「全くしない」を0%にする。 ②毎日継続し、授業に合った進度を保つ。 ③長期休業中に3日～5日実施する。				

(2)知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況	具体的目標(目指す子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よ さ	授業中の発表には意欲的に取り組んでいる生徒が多い。	読む・書く・発表する活動に意欲的に取り組み、自分の考えをまとめたり、人に伝えたりできる。	「学習した内容をまとめたり、人に伝えたりできる」の「できる」を70%にする。		
課 題	自分の課題や目的に応じて聞き取ったり、まとめたりする力、また必要な情報を選択し、筋道をたてて説明することが苦手である。	①読書週間の設定。 ②授業力向上の研修を行う。	取組指標	評価	次年度における改善事項
		①2ヶ月に1度、朝自習を読書タイムにする。 ②自分の教科外の校内授業参観を実施。 ③「授業が楽しくわかる」生徒を80%以上にする。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況	具体的目標(目指す子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よ さ	自主学習ノート「がんばりノート」が定着しつつあり、家庭学習率にも若干の上昇がみられた。また、授業の準備物を用意し、チャイム着席をする習慣もほぼ確立している。	「がんばりノート」を自主学習や家庭学習に積極的に活用し、学習習慣を身につけ、自分の学習方法を確立することができる。また、チャイム着席や授業の準備物を確実に用意することができる。	①「がんばりノート」の活用率90%を目指す。 ②「チャイム着席ができていない」「授業の準備物を忘れないようにする」を90%以上にする。		
課 題	「がんばりノート」の使用が形式化・非効率化し、必ずしも学力向上に直結しているとはいえない。また、一部、時間を守れない者や、忘れ物が多い者もいる。	①「がんばりノート」コンテストを実施。 ②「チャイム着席」ができるように指導する。	取組指標	評価	次年度における改善事項
		①学期ごとに表彰し、ノートマスターの称号を贈る。 ②「チャイムとともに授業が始められるように工夫している」を100%にする。			

平成27年度 学力向上ロードマップ

